

令和元年度 建設業専門工事業者による
「出前授業」報告書

上三川町立本郷中学校「職業体験 実習」

2020年2月4日(火)

「担い手確保」「若手入職者不足」は、我々建設業界に大きな問題としてのしかかっています。今までの業界のイメージ、就業環境等の問題が、一般の方々に先行し、現在のこの問題にも大きく影響しているのではないかと考えています。

私共、専門工事業者は顕著にそれが見られます。この危機的状況を打開したく、ここ数年県内の建設科のある工業高校のご理解とご配慮で、「専門工事業者の出前授業」を実施してまいりました。専門工事業者数社で各工業高校へ出向き実際に生徒達に作業をしてもらい、一人でも多くの生徒に「建設業」を理解してもらおうと始めた事業です。

実習をする度に、その生徒達の意欲ある反応に感化されてまいりました。出前授業を終えると、生徒達からは「建設業に対する理解」と「やりがい」「達成感」「プロの技術」を存分に感じてもらえました。その成果として、卒業後の進路に我々「建設業」「専門工事業」を選び、入職してくれる生徒達が年々増えてまいりました。

高校選択の中学校の段階で、この手の「出前授業」を実施出来れば、もっと早い時期に「建設業」「専門工事業」に、興味を持ってもらえるのではないかと？ 中学校卒業後に、「工業高校への進路」を選んでもらえるのではないかと？ そんな、考えを持つようになりました。

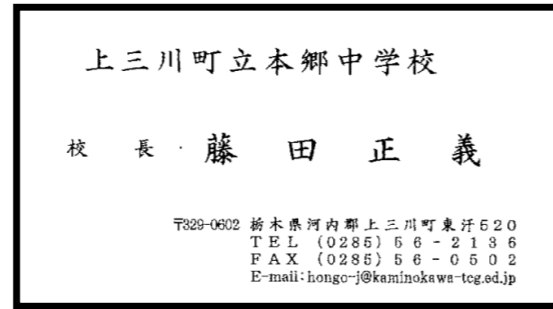
今回、ご縁があり「上三川町立本郷中学校」の藤田校長先生にお会いする事ができ、栃木県内では類を見ない中学校での「建設業 専門工事業者数社による職業体験授業」の運びとなりました。

ご理解を頂きました、藤田校長先生、一学年主任の北條先生と先生方、そして楽しく、真剣に実習に取り組んでくれました、本郷中学校 1年生72名の生徒の皆様、深く御礼を申し上げます。

令和2年2月
株式会社 英和技研
取締役専務 鈴木 隆之

藤田校長先生との面談

建設業への興味、工業高校への進学を目的として、出前授業の実施開催を本郷中学校藤田校長に相談。藤田校長からご理解を頂くことが出来、年度内に実施する運びとなりました。



北條先生との事前打ち合わせ①(英和技研)



今回の担当、1学年学年主任北條先生と1回目の打ち合わせの実施。北條先生からも出前授業に対し深い関心、ご理解を持って頂き、1年生計72名全員対象に、2時間授業での実習の実施をお願いされました。

北條先生との事前打合せ②(英和技研・大場工業・カナダ)



72名の生徒全員を2時間で実習するには、1業者だけの実施は困難なことを理解してもらい、実習は3業種とさせてもらいました。左官の他二業種を過去工業高校で実施した出前授業に参加した業種の中から、学校側に選択してもらおう事とし、参加業種を決定。左官(英和技研)、鉄筋(カナダ)、圧接(大場工業)となりました。北條先生と参加業3社とで改めて事前打ち合わせを実施。当日の施工内容とその場所の決定をしました。



(会議室での打ち合わせ 風景)

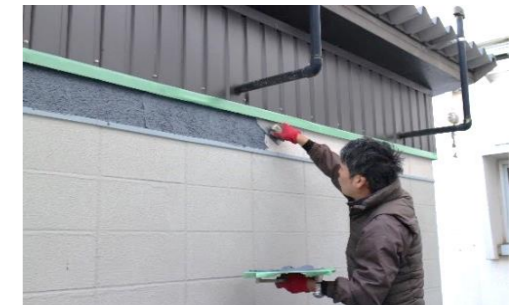


(現地にて施工場所の確認)

実習前段取り(英和技研)



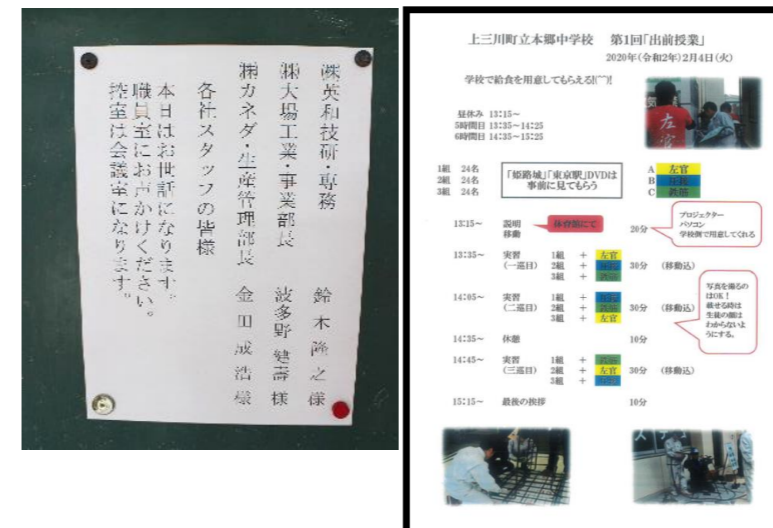
(専用樹脂塗布 風景)



(外壁上部仕上げ 風景)

出前授業施工場所として学校敷地内の「灯油庫」の外壁を提供してもらいました。段取り1日目。既存塗装面にモルタルを塗れるように専用樹脂を塗布。段取り2日目。外壁上部の先行の仕上げと既存巾木面をモルタルにて仕上げました。そして実習当日、開催時間の2時間前に学校へ出向き、施工場所の養生をしました。*鉄筋・圧接とも、実習当時の2時間前に入校し、段取りを実施しました。

2020年2月4日 実習当日 13:15~15:25



(実習プログラム)

藤田校長、北條先生に事前にお渡ししてあった「姫路城」と「東京駅」のDVDを「是非、生徒に見せてあげたい」と言って頂き当日までに生徒達に見てもらいました。

学校側の配慮で給食を準備して頂きました。



学校側のご配慮で、業者参加人数分の「給食」を用意して頂きました。この日の給食は、ハヤシライス、ツナサラダ、ガトーショコラに牛乳でした。大人たちは給食に感激。楽しく食事をさせて頂きました。



開講式

天気:晴れ☀

気温:10℃

閉講式

学年主任の北條先生より、業者紹介

体育館にて



13:15～
体育館にて開講式の開催。
生徒達に拍手で迎えられ、
業者側も全員参加。
北條先生より、業者ごと
丁寧にご紹介を受けました。
迎え入れてくれた生徒達は
行儀が良い印象でした。

建設業について、業者紹介、説明等

【(株)英和技研 鈴木専務】



学校側に用意して頂いた、スクリーン
と機材をお借りし、パワーポイントで
「建設業」「左官」「鉄筋」「圧接」
の説明を、10分程度で実施しまし
た。
生徒に「建設業を知っていますか？」
と、問うと「建物を作っている仕事」
と回答が返ってきました。
参加業種に関しては、誰もピンときて
いなかったようでした。
説明時間は短かったのですが、
生徒達の「聞く姿勢」がとても良く
真剣に話を聞いてくれました。



実習開始 1クラス24名×3交代制 (13:35～15:15)



生徒代表からお礼の言葉

体育館にて



実習終了後、体育館に集合し、
閉講式を実施。
生徒代表挨拶は、
緊張をしながらも、
しっかりとした姿勢で
素晴らしい挨拶でした。

業者代表挨拶 【(株)英和技研 鈴木専務】



業者代表挨拶では、
実習を通し生徒たちの緊張もなく
笑顔で話を聞いてくれました。
この実習で感じた事を
家族に伝えてもらいたいと
お願いし、工業高校にも興味を
持ってもらいたい
と伝えてきました。

学校のホームページに掲載された



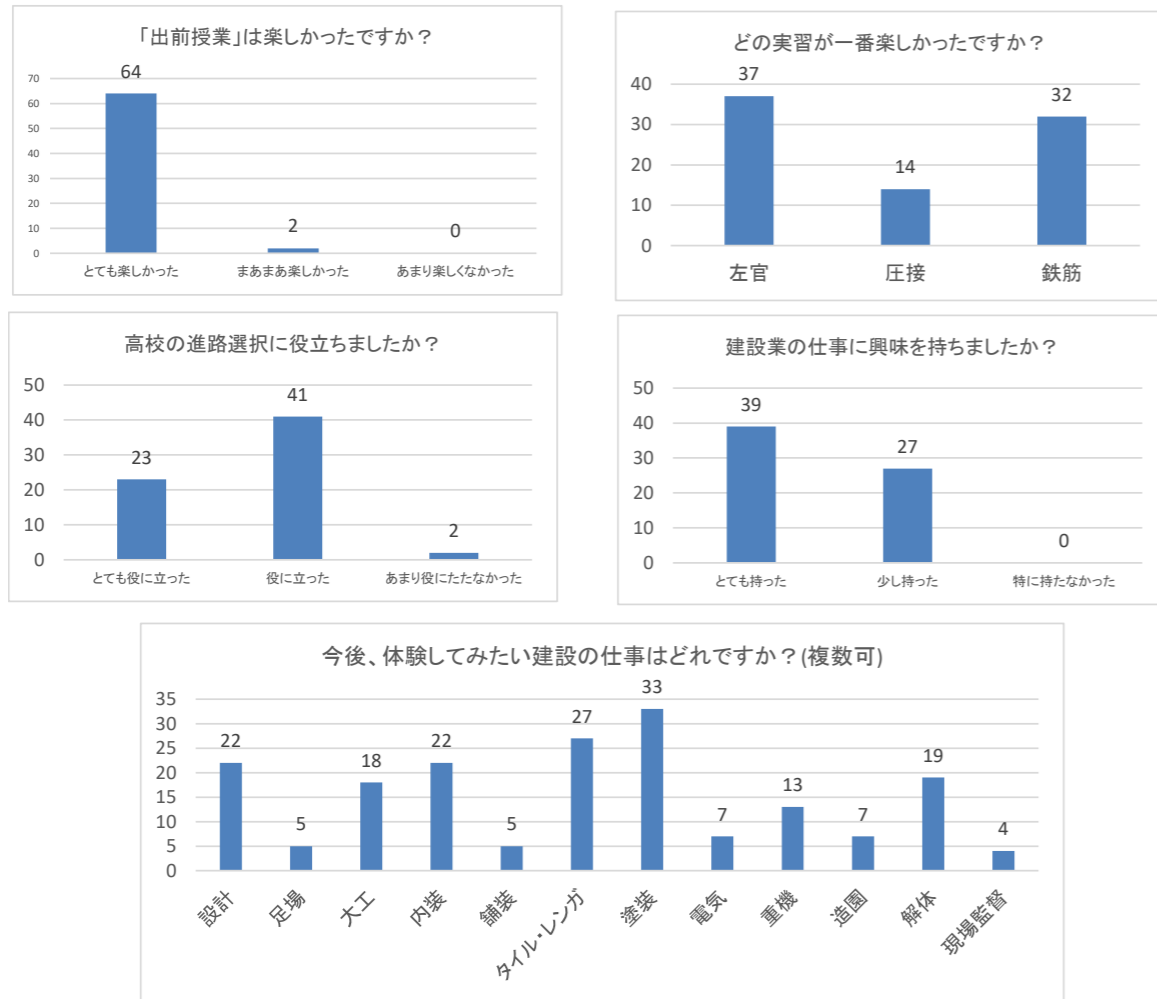
実習後すぐに、学校HPに出前授業の様
子を校長先生にアップして頂きました。
藤田校長先生から、
「是非、来年度も実施してほしい」と
嬉しいお願いをされました。
次年度の学校行事に組み込んで頂ける
のではないかと、
期待を持たせてもらいました。

【本郷中学校での出前授業を終えて】

各工業高校出前授業での折、「今度は中学校で出前授業をやってみよう！」と弊社 鈴木と先生方との会話を聞いた時、最初に浮かんだのが私の母校でした。中学時の担任だった藤田先生が校長先生になったと知り、藤田先生なら話を聞いてくれるかもしれない、と思い、学校に電話したのがきっかけでした。母校ではなかったのですが、藤田校長先生には出前授業を「すごくいいね！」と言われてもらえ、この実習が実現できました。
私は、打合せ、段取り、実習と初めて全てに関わらせてもらい、想像していたよりも大変でしたが、どの業者も建設業の未来のため、生徒達のためにと、一生懸命だったのが印象的でした。
弊社は中学校での実習は初めてだったので、当日私はとても緊張していました。開講式では生徒達も不安そうでしたが、実習が始まると笑顔が出て、活き活きとしていて、とても楽しそうに取り組んでもらえました。
生徒達のたくさんの笑顔を見て、今回、中学校で実習をやらせてもらえる事ができ、本当によかったと思いました。生徒達の将来の進路選択のキッカケやヒントになってくれたらと思います。
そして、この実習が今後たくさんの中学校に広がり、建設業を少しでも知ってもらい、興味を持ってもらえれば良いと思います。
改めて実習には、たくさんの人達の想いや協力があって、そしてその先に生徒達の笑顔があるのだと思いました。
藤田校長先生を始め、北條先生、生徒達、業者の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

アンケート結果

後日、生徒達にアンケートを書いてもらった結果



【生徒達の感想】

- ・ 僕も将来こういう仕事をしたいと思っていたので、良い機会となりました。
 - ・ どんな高校に行くかの考えるきっかけになりました。
 - ・ 建設業の仕事に少し興味を持った。
 - ・ 将来に今日やったことを活かしたい。
 - ・ 自分も誇れる仕事を見つけないかと思いました。
 - ・ 素晴らしい仕事だなと思いました。
- その他 多数

【先生方からの感想】

生徒達は楽しく体験し、やり遂げた充実感を味わうことができました。
 そして、建設業に興味を持った生徒がたくさんおりました。
 体験が生徒達にとっても好評であったため、次年度以降も継続していきたいと考えています。

参加業者

視察会社

会社名	スタッフ人数	視察会社
株式会社 英和技研	6名	清水建設 株式会社
株式会社 カネダ	8名	長谷川建設 株式会社
株式会社 大場工業	5名	



株式会社 英和技研

